

THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLY BULLETIN
佐土原ロータリークラブ週報

ロータリーを高めよ
思いを尽くし 熱意を尽くし

HONOR ROTARY
WITH FAITH AND ENTHUSIASM



●次回卓話予定者

ポリオ・プラス月間
会員増強拡大月間

1991.3.22. (金) 第167回例会

本日のプログラム

1. 点鐘
2. ロータリー・ソング「我等の生業」
3. 「四つのテスト」唱和
4. 食事
5. 会長の時間
6. 幹事報告
7. 各委員会報告
8. 会員卓話（神宮寺 利夫会員）
9. 点鐘

佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日 (12:30~13:30)

例会場 ホテル神宮寺 TEL 0985-73-0015

事務所 〒 880-02 佐土原町大字下田島9883番地1
TEL 0985-73-0015

会長 佐野 保

副会長 神宮寺 利夫

幹事 鈴木 正敏

会計 浜田 松太郎

会報責任者 垂水 敏雄

第166回例会記録

(平成3.3.15)

会長より(代理)会長エレクト 濱田 松太郎

本日は佐野会長・神宮寺副会長とも所用のため出席できませんので、私が会長代理を務めさせていただきます。佐野会長から、3月24日の西都市でのIMには、当クラブもコ・ホストクラブとしての責務もありますので、必ず全員出席していただきたい、との要請がありました。

最近わが国で大腸癌の多発が重要問題としてとりあげられつつあります。これは、日本人の食生活が欧米型に変わってきた結果ではないかともいわれています。発生のメカニズムについてはまだ確たる証明はなされていないと思いますが、昨日の新聞報道では、「大腸癌抑制遺伝子解明、日本研究グループ予防貢献に道」という見出でて、日本側は中村生化学部長、米國側はジョンズ・ホプキンス大学バード・ボーゲルシュタイン教授の共同研究結果が発表されています。

すなわち、三種類の癌抑制遺伝子の働きが失われ、一つの癌遺伝子が活性化する結果発癌する。このうち癌抑制遺伝子は23対(46本)あるヒトの染色体のうち、第5、第17、第18の3個の中の第5染色体が先ず異常を起こして引き金となり、その後、残りの遺伝子の異常にによって悪性化する。これまで第17、第18の抑制遺伝子は見つかっていたが、最も重要な、第5染色体上のものだけ見つかっておらず、世界中の研究者がその発見を競っていた、といわれていました。今回きとめられた第5染色体の中央部のやや下にあり、MCC(大腸癌突変異)と名付けられました。これは、現在日本で急増中の大腸癌発生の仕組みの解明に大きく貢献するばかりでなく、この遺伝子を調べることにより、大腸癌になり易い体质の判定や、予防に役立つものと期待されます。

私なりに考えますと、日本人の食生活が欧米型に近づきつつある現在、肉類を主体とした食事に疑問も生じます。そして、着色剤を使用した食品等にも問題があります。私達は、戦時中

の、粗食に耐え抜いた当時を想い出し、大地に育った食物、植物繊維の多いもの、例えば甘藷芋、野菜などを多食すべきではないかと思います。先週、NHKの“土曜朝市”に行き、串間市の甘藷を購入して帰りましたが、これなどは大腸癌予防に効果があり、第一通じがよくなりガスも出ますが、腹工合抜群で、おなかの掃除の役を果してくれます。食べたものを長く体内に留めて便秘することは、どんな栄養的価値のある食物でも醸酵することを考えますなら、健康によくないことは間違ひありません。

癌予防につきましては、山脇先生から度々卓話ををしていただき、今更私が申し上げる筋合いでもございませんが、本日はふと考への一端を申し上げ、会長代理の話といたします。

幹事報告

鈴木 正敏

例会変更通知

- 高鍋、延岡中央、都城中央RC 3月21日休
- 都城RC 3月24日 12:00～青井岳
- 宮崎北RC 3月27日 宮崎神宮東神苑
- 小林中央RC 4月5日 19:00

ノブトキ飯店

社会奉仕委員会より 猿渡 寛彦

前回ご連絡しました本年度活動費の使途については、牛乳パック回収箱を三地区の公民館に設置(計4個)する経費に充てる事にします。

◎紙面の都合で山脇会員の卓話は(2回分)次回に掲載させていただきます。

第166回例会 3月15日(金)

ビジタ一

西都RC 長友 正三氏・河野 謙二氏

池田 洋文氏・平山 繁生氏

出席状況

会員数	17名
ホーム欠席者数	8名
ホーム出席者数	9名
ホーム出席率	52.94%
マークアップ者数	1名
修正出席率	58.82%
マークアップ状況	佐野(西都RC)
欠席者名	池田・児玉・郡司・藤堂 神宮寺・井下・今村